

第 82 回 火力専門委員会 材料分科会 議事録

1. 日 時: 2016 年 8 月 8 日 (月) 13 時 30 分～17 時 20 分
2. 場 所: 日本機械学会 第 3・4 会議室
3. 出席者: 伊藤 (IHI)、西川(NIMS)、吉田 (東電)、木村 (NIMS)、妹尾 (関電)、
俣野 (KHI)、森 (新日鐵住金)、長谷川(発電技検)
オブザーバー: 長谷川 (中電)
欠席 : 菊原 (MHPS 呉)
事務局: 原

4. 配付資料

- 82-1 第 81 回材料分科会議事録 (案)
- 82-2 材料分科会委員名簿
- 82-3 第 76 回火力専門委員会議事録 (案)
- 82-4 第 31 回材料専門委員会議事録 (案)
- 82-5 第 78 回発電用設備規格委員会議事録 (案)
- 82-6 審議履歴表
- 82-7-1 表Ⅱ-3-1,3-2,3-3, JIS 年度変更評価検討票(新日鐵住金)
- 82-7-2 表Ⅱ-2-2 (中部電力)
- 82-7-3 本文、補遺 (川崎重工業)
- 82-7-4 表Ⅱ-1-1 (IHI)
- 82-7-5 高クロム鋼の許容応力の見直し
- 82-7-6 図表、物理的性質の改訂内容の確認
- 82-8 B31.1 材料のグループ番号の記載について (JESC 審議時の宿題事項)
- 82-9 火力関係規格販売実績報告

5. 議 事

(1) 前回議事録確認

【資料 82-1】

前回議事録 (案) について確認を行ない、議事録案は承認された。

〈修正箇所〉

- ・ 1P 下から 5 行目・・・ASTM → ASME
- ・ 2P 5.(3)2) 12/9 開催 → 3/15 開催

(2) 分科会委員・役員の承認

【資料 82-2】

齊藤委員の退任が報告された。また、伊藤主査、妹尾委員の再任意向、新任候補として長谷川氏 (中部電力) の推薦が報告され、出席委員全員の賛成により次回火力専門委員会へ推薦することが承認された。

(3) 報告事項

1) 火力専門委員会報告

【資料 82-3】

6 月 3 日開催の第 76 回火力専門委員会の主要項目が報告された。

○ 第 81 回材料分科会報告（審議状況等の報告）

[質疑]

- ・ ASME における高クロム鋼に関する検討状況に関する質疑の紹介
- ・ SN 材に関して、火力として規格に取り入れるかどうか。
→ SS 材の代わりとして今後検討していくと回答

■ SN 材については、分科会として火力の規格に取り入れていく方針を確認し、火力専門委員会から材料専門委員会に SN 材の規格化に関する情報提供を依頼するよう準備をすすめることとした。 8/31 開催の材料専門委員会において依頼できるよう準備を進める。

○ 審議結果報告

- ・ 火力設備配管減肉管理技術規格の改訂案(S TB1-2016)の審議状況等について、報告があった。

2) 材料専門委員会報告

【資料 82-4】

5 月 30 日開催の第 30 回材料専門委員会の主要項目が報告された。

- SN 材の規格化検討依頼に対する回答（案）の書面投票等の審議結果について
- Su、Sy 値策定のための手順書案（内規）の書面投票意見対応について
- Su、Sy 値策定のための手順書案（内規）の書面投票意見対応について
- 改良 9Cr-1Mo 鋼伝熱管の新規規格化（案）に対するご意見伺いでの意見対応について

3) 発電用設備規格委員会(6/8 開催)報告

【資料 82-5】

6 月 8 日開催の第 78 回発電用設備規格委員会の主要項目が報告された。

- 火力専門委員会(6/3 開催)の報告
- 火力設備配管減肉管理技術規格の改訂案(S TB1-2016)の審議状況等の報告
 - ・ 分科会からの書面投票意見対応案の提案に対して、JIS の年版を併記する理由を記載した方が良いとのご意見があり、決議の結果本意見を反映した修正案をメール審議にかけることとなった。

4) 火力関係規格販売実績報告

【資料 82-9】

事務局から、火力関係規格の販売実績について、資料に基づき報告があった。

(4) 審議事項

1) 表Ⅱ-3-1,3-2,3-3

【資料 82-7-1】

森委員から、資料に基づきボルト材関連の改訂案の概要について説明があった。

○ 表Ⅱ-3-3 備考

- ・ 一般注釈(c)は欠番とする。

- ・一般注釈(g) ASME B31.1 (2004 Edit 版)の「2004 Edit 版」が必要かどうか検討する。
- ・定格は、この用語で良いかどうか他分科会に確認する。
- ・許容応力表備考の対応表(配布資料 P62)を再確認する。
- 表Ⅱ-3-2 備考
 - ・一般注釈(j)・・・表Ⅱ-2-2の備考(g)と同様にする。
更なる情報は、「S CB1-2014 発電用設備規格関連の材料現象に関する解説」を参照すること。
 - ・注釈 G1 NO6625・・・O(オー)か O(零)か確認する。
- 表Ⅱ-3-1 表Ⅱ-3-2、表Ⅱ-3-3 と同様、まとめの表を準備する。

2) 表Ⅱ-2-2 備考 【資料 82-7-2】

- ・長谷川委員(中部電力)が、コメントを反映した原稿案、レビュー票を説明し、提案どおりで良いことを確認した。
- ・レビュー表内で確認のあった Table 1B (g)の表記については、(g)のままとして確認した。

3) 本文、補遺 【資料 82-7-3】

俣野委員から、コメントを反映した本文、補遺について説明があった。

- 補遺 3.の材料取込にあたっての考え方
 - ・SN 材を取込む場合でも、SN 材は JIS 材であるので、この部分を変更する必要が無いことを確認した。
- 補遺 13
 - ・HPIS C105(2010)は、火技解釈の安全率 3.5 に伴って記載不要になったので、削除する。
- 補遺 14 の ASME 材の記載に過不足が無いことの確認
 - ・表Ⅱ-2-2 については、過不足ないことを確認したことが報告された。

4) 表Ⅱ-1-1 【資料 82-7-4】

伊藤主査から、改訂方針に基づき作成した許容応力表について説明があった。

- JIS G3118
 - ・375℃以上のところは、間違えて記載してしまったものなので削除する。
- JIS G5122
 - ・SCH22,SCH22CF の適用章は見直す。
 - ・SCH22,SCH22CF の 75℃～725℃の範囲が無いこと、SCH12～21 において、最低使用温度が 40℃で許容引張応力が 40℃以下の範囲しかないことなどは、今後の検討課題であることを確認した。

5) 高クロム鋼の許容応力の見直しについて 【資料 81-7-5】

木村委員が安全率を 3.5 にした許容応力の見直し案を説明し、この方針により見直し案を策定することを確認した。

6) 図表、物理的性質

【資料 82-7-6】

木村委員が、図表と物理的性質の改訂内容を説明した。

○ 外圧チャート

- ・ 許容応力表が確定した段階で確認する。

○ 物理的性質

- ・ 許容応力表が確定した段階で、許容応力表に材料グループⅠの対象材料があるかどうか確認する。

7) B31.1 材料のグループ番号の記載について（JESC 審議時の宿題） 【資料 82-8】

吉田幹事から、昨年 12 月の JESC 審議時の宿題である、B31.1 材料のグループ番号の記載について、説明があった。

審議の結果、元々B31.1 材にはグループ番号がなくそれで問題が無いこと及び、新たにグループ番号を設定するのは難しいことを考慮して、対応案は(1)「表Ⅱ-1-4 のグループ番号を削除する。」とすることとした。

6. 次回開催予定

日 時 : 2016 年 11 月 2 日 (水) 13:30~17:00

場 所 : 日本機械学会 第 3,4 会議室